

「Remote ischemic preconditioning による副交感神経系の比較検討」へのご協力をお願い

代表者 所属：循環器内科 職名：部長 氏名：岡 岳文

1. 目的

Remote ischemic preconditioning (RIPC) は虚血耐性が得られる臓器保護効果があると報告があり既に証明されている。RIPC のメカニズムは、様々な報告があり副交感神経系が有意となることも指摘されている。この度、RIPC による神経系の効果の持続時間を control も用いて比較検討を行った。

2. 対象と方法

2014 年 8 月から 2016 年 1 月までの Holter ECG を施行した症例を対象に RIPC 群と control 群とで比較検討した。評価項目は、Holter ECG 中の Low Frequency および、Low Frequency/ High Frequency を比較した。

3. 研究期間

平成 26 年 8 月 1 日 ～ 平成 28 年 1 月 30 日

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

上記結果を第 81 回日本循環器学会総会 2017 へ発表する。

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報とは完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 藤木 茂篤

連絡先：電話 0868-21-8111 (担当： 循環器内科 山中 俊明)